

合志市情報教育担当者会

ICT活用に関する 両校の取組について

～ゼロからの体制構築のために～

合志市立合志楓の森小学校・中学校



【合志楓の森中学校区目標】

自他の存在を大切にし、自ら考え
自ら行動する児童生徒の育成



重点目標(努力目標・実践事項)

豊かな人間性	確かな学力	健康・体力	職場環境等
<p>(1)人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「ハンセン病問題」を核とした人権学習の充実 ○ いわゆる「隠れたカリキュラム」の重視 <p>(2)道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別な教科道徳」の趣旨を踏まえた授業実践 <p>(3)生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめの積極的認知と不登校生徒への教育保障 ○ ストレス対処教育及び教育相談機能の充実 <p>(4)体験・交流活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域との連携・協働 ○ ボランティア（生徒会・JRC等）活動の充実 	<p>(1)自己教育力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善 ○ ICT（タブレットPC等）を活用した学習の日常化 <p>(2)基礎・基本の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 家庭学習の充実 ○ 目標提示から振り返りまでが完結する単元構想 <p>(3)思考力・判断力・表現力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ プレゼン教育の推進 ○ 校内研修・OJTを通じた「共に学び合う」授業への転換 <p>(4)特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 生徒一人一人の教育的ニーズに最適化された学習環境の実現 	<p>(1)教育活動全体を通じた体力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 部活動のあり方の見直し ○ スポーツテストの結果を踏まえた体育の充実 <p>(2)健康・安全教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ メディア等を節度をもって使用する生活習慣の育成 ○ 危険予知能力と危機回避能力の育成 <p>(3)食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 給食指導の充実 ○ 家庭との連携 	<p>(1)働き方改革(在校等時間の縮減等)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ グループウェアや校務支援ソフトの有効活用 ○ 休暇取得や定時退勤をしやすい職場環境づくり <p>(2)地域とともにある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会及び地域学校連携協働本部の設立と運営 ○ 学校評価の整備と活用 <p>(3)小中教職員の交流・協力・協働の推進</p> <p>(4)不祥事防止及び危機管理の徹底</p> <p>(5)新型コロナウイルスへの適切な対応</p>



GIGAスクール構想

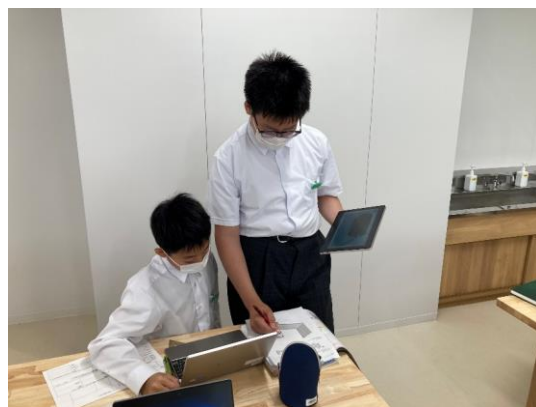
Global and Innovation Gateway for All
全ての児童・生徒のための世界につながる
革新的な扉

本校での捉え方

生徒たちが
「ICTが将来役に立つ」
というイメージを持てる



「読み・書き・そろばん」から「読み・書き・パソコン」へ 主体的・対話的で深い学びのためのツールとしての活用



4月:タブレット引渡し式

情報活用能力・モラルの育成

校長から直接配布

細かいルールは作らない

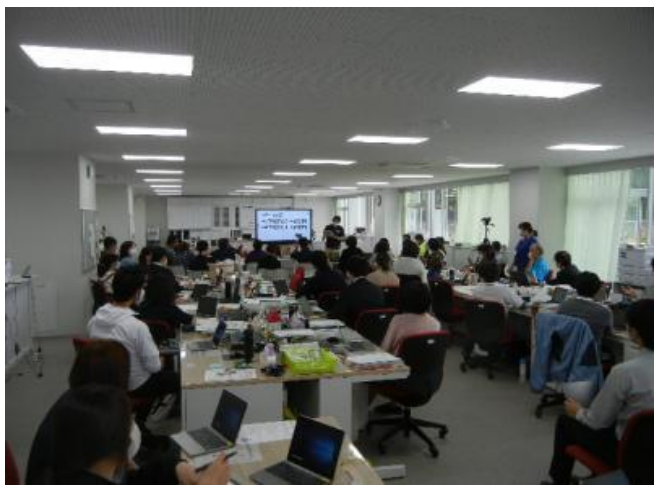


マインドセットし
使用に対する意欲
の向上

まずは慣れることを優先
⇒休み時間にも自由に触れる姿が

4月：タブレット引渡し式

情報活用能力・モラルの育成



小中合同の研修

小学校では学年の実態に応じた対応



4月の取組

情報活用能力・モラルの育成

気になる使用は場面をとらえて指導

- ・興味本位の使用⇒教師による声掛け
- ・クラス掲示板への必要ない書き込み
⇒期限を定めて消すように指導
翌日…全て削除されていた

職員の積極的な使用

- ・苦手意識の払拭⇒研修会を兼ねてオンライン飲み会



5月～6月:様々な場面で活用

できることからやってみる

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

英語:プレゼン教育
(PPTスライド作成)

タイピングサイトを全員登録・朝自習などで練習



↓ やって見たものの...

文字打ちに時間がかかる

5月～6月:様々な場面で活用 できることからやってみる

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

社会(小4):調べ学習



国語(小6):調べ学習



家庭(小5):裁縫実習
QRコードを読み取り、手本動画を見る



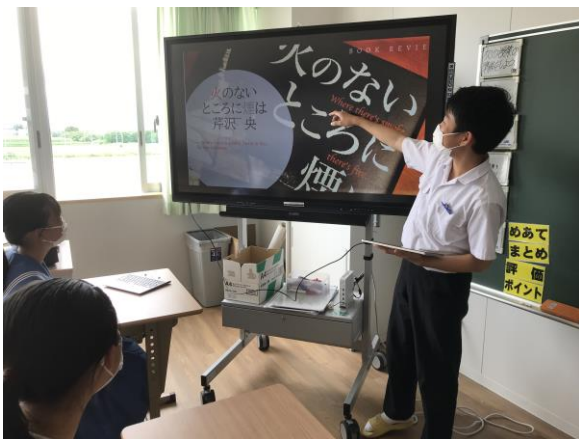
5月～6月:様々な場面で活用 できることからやってみる

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

国語:ビブリオバトル(おすすすめ本紹介)

生徒会リーダー研修⇒作業の効率化



スライドで分かりやすく
効果的なプレゼン

有用性の周知

5月～6月:様々な場面で活用

接続テストも工夫しながら

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

合志楓の森小中学校の ビデオ会議接続テスト方法

一度設定すれば後は最小限の人数で
対応可能

- ①ビデオ会議に接続成功画面を設定し, それが見られることで映像の確認とする。
- ②BGMとして校歌を流しておき, 聞こえることで音声の確認とする。



7月～8月：活用の幅を広げる 初のオンライン授業

情報活用能力・モラルの育成

学びの保証

スモールステップで実施

- ・感染状況が落ち着いているうちに一度検証しておいた方がよいとの提案あり
- ・午前中授業、午後は帰宅し家庭でビデオ会議に接続
- ・内容は学活
テーマトークなどのアイスブレイク的な活動を実施



職員・生徒の自信に繋がる

活用に関する多くの提案・意見

7月～8月：活用の幅を広げる タブレットで夏休みの記録を

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

- Microsoft Teamsのファイル共有機能を活用
- ICTを活用したスケジュール調整
- 担任によるリアルタイムの確認が可能
- Microsoft Teamsの可能性を職員も確認

R3 夏休み計画表 (13).xlsx

ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ デスクトップアプリケーションで開く 必要な作業を入力 編集

多々島衣咲

令和3年度 夏休み計画表
タブレットPCを使い、自分で入力しよう

1日の生活の計画を立て、下に入力しよう

日	曜日	起床時刻	就寝時刻	充実度	日記
7/29	木	0:30	7:30	B	今日は
7/30	金	2:20	7:30	A	今日は
7/31	土	0:40	7:00	B	今日は
8/1	日	2:30	8:00	B	今日は
8/2	月	2:30	7:30	A	今日は
8/3	火	1:00	7:30	B	今日は
8/4	水	0:00	7:00	A	今日は
8/5	木	0:00	7:30	B	今日は
8/6	金	1:00	9:00	B	今日は
8/7	土	2:30	8:00	A	今日は
8/8	日	2:20	8:00	A	今日は
8/9	月	3:30	8:00	B	今日は

以後の授業活用につながる

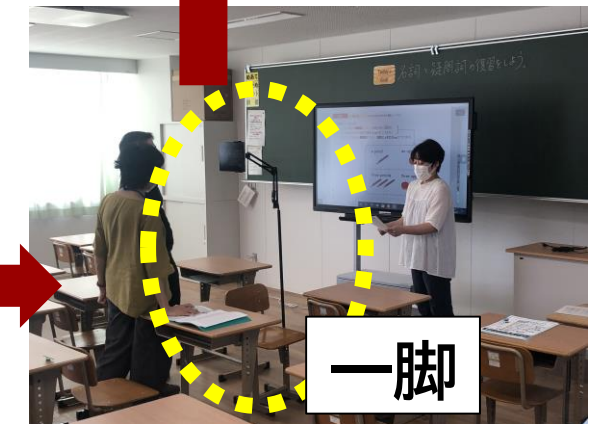
7月～8月：活用の幅を広げる

第2回オンライン授業

情報活用能力・モラルの育成

学びの保証

- 教科の授業を実施
(25分×2コマ)
- 事前に職員で研修を実施
実際の授業を想定して
細かいセッティングを検証
- 市内の小中学校に参観の
呼びかけ
ロールモデルの一つとして
可能性の提案



いつ遠隔授業になっても大丈夫だぞ……

7月～8月：活用の幅を広げる オンライン授業準備

情報活用能力・モラルの育成

学びの保証

- ・事前準備の必要性について
共通理解
- ・はじめは情報担当がシミュレーション
- ・ICT支援員との綿密な連携
- ・マイクの聞こえ方や話し方、
立ち位置などまで検討
- ・いくつかのクラスにて
事前に授業で検証

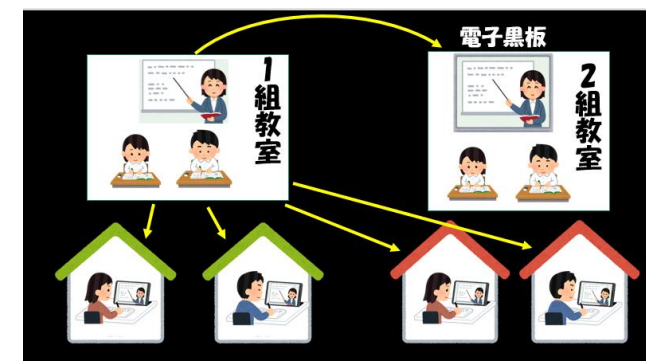
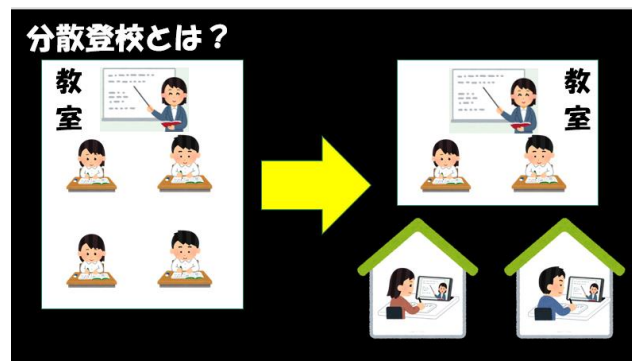


9月：分散登校・オンライン授業開始

チームで取り組む

学びの保証

- ・名簿順で2グループに分け
交互に登校
- ・登校しないグループは
ビデオ会議で授業
- ・午前中は分散授業
(教室 & オンライン)
午後は一斉オンライン
- ・別教室にも授業配信
⇒他の教員で機器サポート

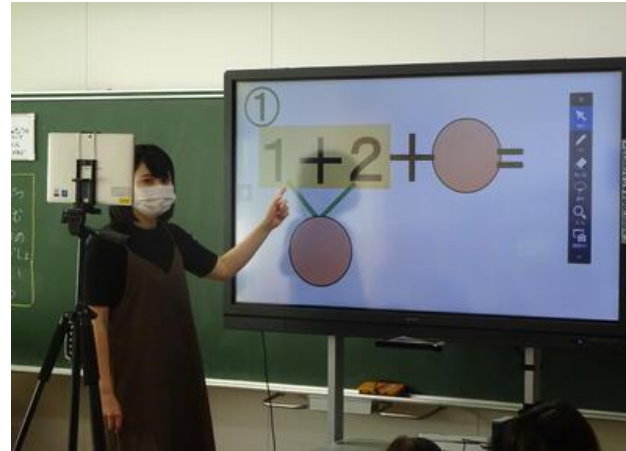


9月：分散登校・オンライン授業開始

チームで取り組む

学びの保証

- 地区等を考慮し2グループに分け交互に登校
- 登校しないグループはビデオ会議で授業
- 授業は30分×5限で実施
- 別教室にも授業配信
⇒他の教員で機器サポート



9月：分散登校・オンライン授業開始 チームで取り組む

学びの保証

機器のトラブル対応は複数の職員・ICT支援員で

テスト前でもあり生徒もより集中



9月：分散登校・オンライン授業開始 チームで取り組む

- ・期末テスト⇒分散で実施



学びの保証

- ・解説も分散で
しなければならない
- ・日程や時数も限られて
いる

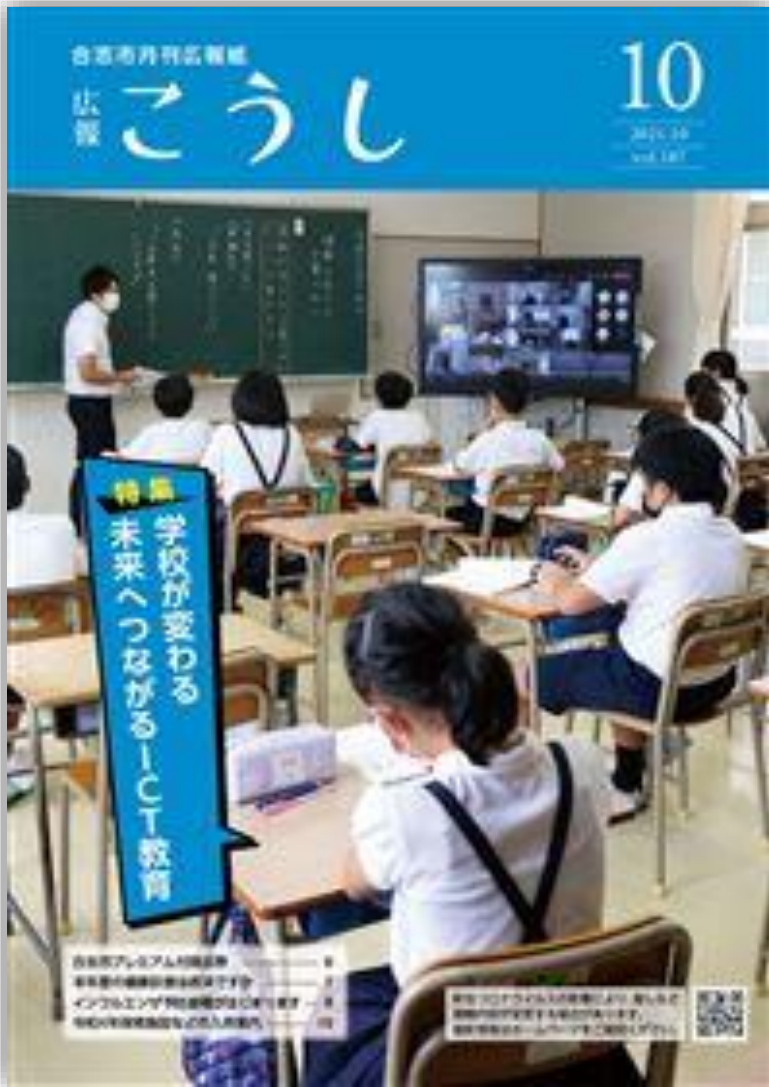


オンラインの活用

- ・解説者は別室
- ・各クラスに動画を
配信



「広報こうし」にも取り組みが掲載



学校の学びをみたく
合志楓の森中学校

- ①の教室では先生が国語の授業を行なっています。(2ページ)
- ②の教室ではリアルタイムで配信される授業を電子黒板で視聴しながら学習しています。
- ③自宅で学習する生徒も、グループを作って意見交換する時間を併ったり、教室に向かって発表したりすることが出来ます。
- ④配信用のタブレットは1クラス1台準備。自宅学習をしている生徒の様子も確認できます。
- ⑤黒板の操作で戸惑ったときは、周りの先生たちがサポートしてくれます。

井上 竹久 教諭
(合志楓の森中)

タブレットが1人1台整備され、授業の可能性は大きく広がりました。タブレットの使用によるネットのトラブルなど心配もあるかと思いますが、最初から使わせないのでなく、課題が見えた場面とらえて指導することで、情報社会に参画する態度を育てています。生徒の発信力も併せて伸ばしていきたいですね。

河崎 杏珠 さん
(合志楓の森中2年)

ICT機器を使った分散登校が始まったからは教室が密になることもなくなり、安心して学習できるようになりました。オンライン授業も先生たちの工夫で日々改善されていて、自宅でも学校と同じように授業を受けることができます。少人数なので質問しやすくなりました。

特集
学校が変わる
未来へつながる
ICT教育

手探りから始まり、今も進化を続ける授業

合志楓の森中学校では、分散登校とオンライン授業を実施し、感染対策とICT教育を両立させるための準備をしています。

この日は国語の授業を1クラスで行ない、隣のクラスの電子黒板に配信。さらにそれぞれのクラスの生徒の半数が自宅でもオンライン授業を受けることで、教室が自宅でオンラインを防いでいました。どのクラスで授業を行なうか、どの生徒が在宅か、ローテーションで順番になるよう時間割が工夫されています。

今、このスムーズに授業を行なっていますが、始める前は「ICTなんて私には無理」という先生も。しかし、ICT機器に詳しい先生が機種の設定や操作方法をサポートし、生徒と関わる経験が深い先生は、オンラインで授業に参加する生徒の意欲を引き出す方法をアドバイスするなど、次第に職員同士の協力体制ができていきました。

また、この体制になってからは、事情があっても教室に入れない子どもも、オンラインで授業に参加することができるようになりました。今後は、一人ひとりの学習状況に応じた個別学習や協働学習など、ICTの活用をもっと広げていきたいと考えているそうです。

新しい生活様式やテレワークが急速に進んだ現在、学校での授業環境はどのように変わったのでしょうか。

市内の小・中学校では、先生と生徒の皆さんが自分たちで最適な学習環境を構築し、工夫して新しい学びを実現している学校がありました。今回の特集は、情報社会に対応し、未来へ生きる力を育んでいる学校の現場から伝えます。

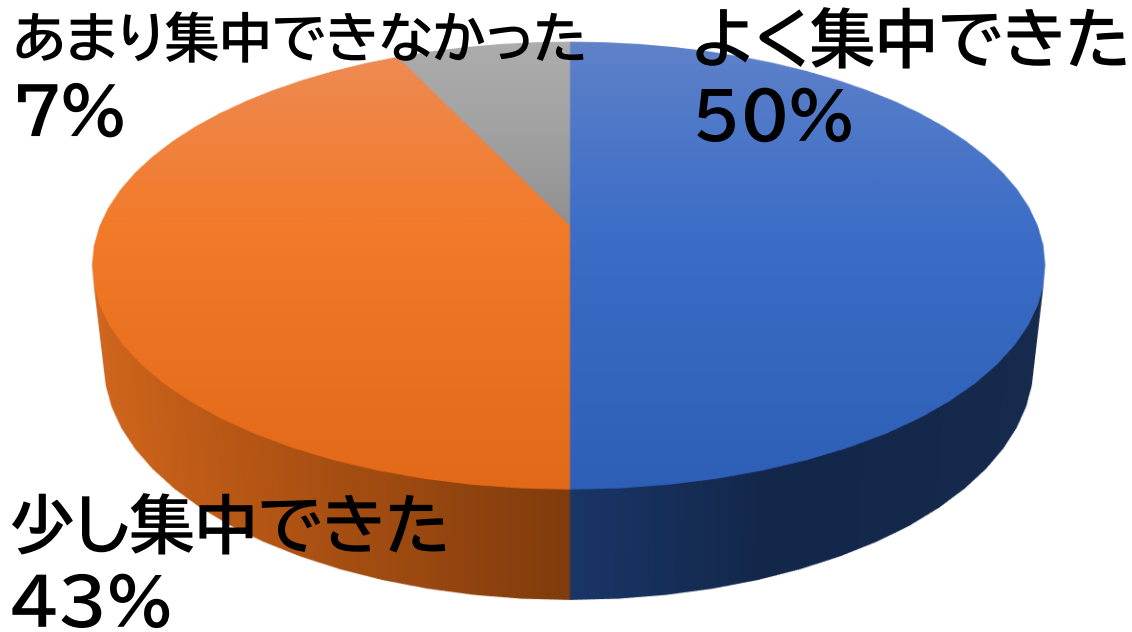
用語解説	ICT教育	ICT教育のメリット
	パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと。ICTはInformation and Communication Technologyの頭文字で、日本語では情報通信技術の意味します。	<ul style="list-style-type: none"> 動画や映像・音声などが組み込まれた教材で興味と理解が深まる 課題や目的に合わせた最新の情報を収集・分析する調べ学習ができる 個人の考えをすぐ共有し、双方向で情報交換する協働学習ができる 情報収集や発信の方法を学ぶことで、情報モラルを基礎する機会が増える



分散登校・オンライン授業アンケート結果(一部)

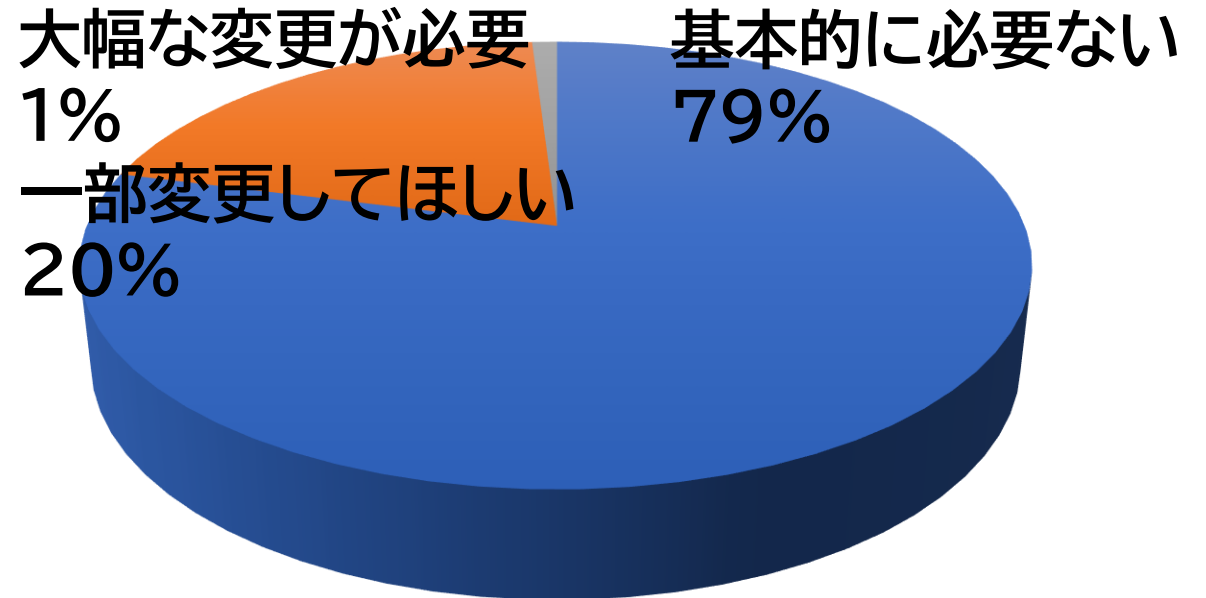
生徒対象

オンライン配信の授業を集中して受けることができましたか



保護者対象

分散登校を再び行う場合
日課や学習形態の変更が必要ですか



概ね好意的な評価

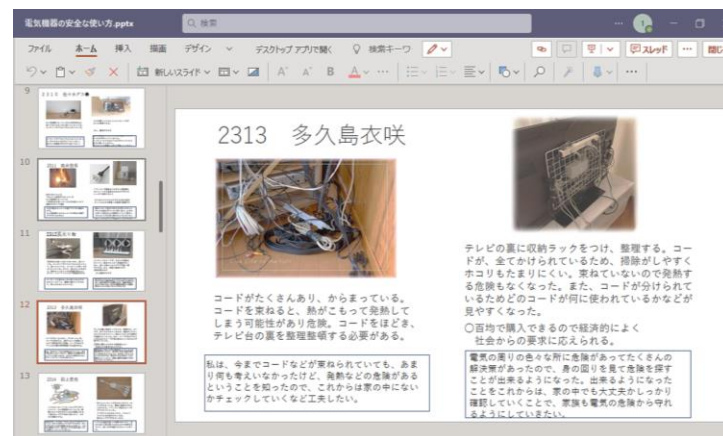
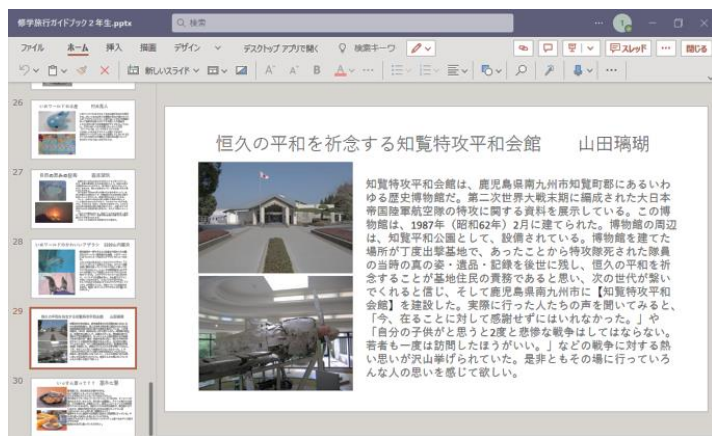
10月～12月:ポイントを押さえた活用を

一歩先へ

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

共同編集機能の活用



国語:修学旅行ガイドブック

技術:電気機器の安全な利用

資料作成が容易に



時間確保



話し合いの質の向上



10月～12月:ポイントを押さえた活用を

一歩先へ

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

小5:環境についての学習
学んだことをプレゼン
でまとめ



小3:総合において共同編集した内容を発表



10月～12月:ポイントを押さえた活用を

一歩先へ

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

個別最適な学びに向けて

保体:ダンスの見本確認
動きの録画チェック



社会:一問一答テスト



総合:各コースでの活用



生徒が有用性を感じている

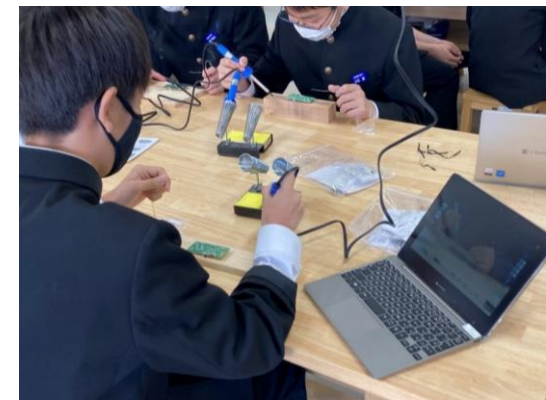
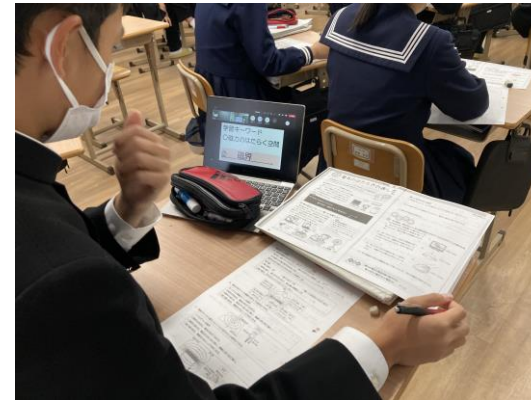
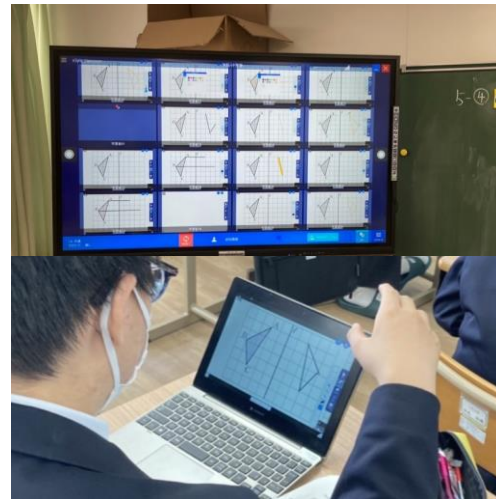
10月～12月:ポイントを押さえた活用を

一歩先へ

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

電子黒板とタブレットの接続



簡単に短時間で生徒の意見集約

資料提示がより効果的に

10月～12月:ポイントを押さえた活用を

一歩先へ

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

電子黒板とタブレットの接続



アンケート機能を用いるとその場で
結果の集約ができる

資料提示がより効果的に

タブレットの活用がさらに進んだ



その他の取組 とりあえずやってみる 学校HPで随時(毎日)発信

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

学びの保証

Koshi Kaedenomori Junior High School (Since 2021)

合志市立合志楓の森中学校

合志市立合志楓の森小学校

合志市の森小学校は、合志南小学校と西合志東小学校から一部分離し、令和3年4月に開校した新設校です。同じく合志中学校と西合志南中学校から一部分離新設された合志市の森中学校と施設を共有(施設一併型)し、小中一貫教育を推進しています。

小中合同校内研修も日常化

投稿日時: 2021/12/01 学校サイト管理者

以前、紹介したとおり楓の森小・中学校の校内研修は合同で行っています。毎月1回行う校内研修の他、必要に応じて他の研修も合同で行っています。小学校は、将来、楓の森中学生となる現在の小学生のことを考え、中学校は、数年前までは小学生だった現在の中学生の事を考えて、小・中学校の教職員が中学校3年生(義務教育最後の年)の生徒の姿をイメージして、どのような取組をしていけばいいのかを議論して実行していくことは、楓の森小・中だからこそできる事だと思います。



研究テーマは「自他の存在を大切に、自ら考え、自ら行動できる児童生徒の育成～学びの連続性を意識した教育活動を通して～」。

児童生徒に身につけさせたい力として「やりぬく力」「伝える力」「協働する力」の3つをあげています。今日は、「学習環境部」「集団づくり部」「人権教育部」「授業づくり部」「タブレット活用部」「特別活動部」「集計・分析部」の7部会に小・中の教職員が別れて話し合いを行いました。

会を重ねるごとに、リラックスした雰囲気の中にもより具体的な取組などについて議論が深まってきています。

その他の取組 とりあえずやってみる

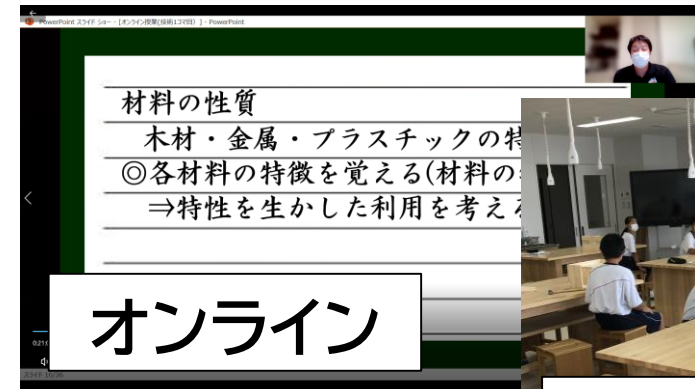
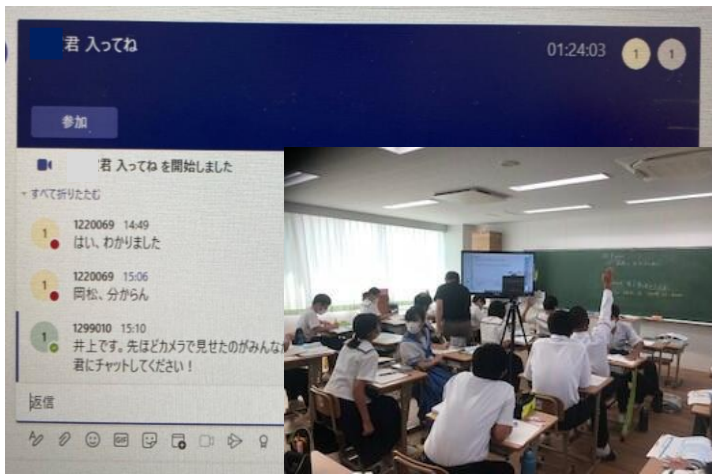
情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

学びの保証

分散登校のノウハウ⇒欠席者への授業配信
ビデオ通話で欠席者も話し合いに参加

「アバター」授業(分散登校時)
ビデオで授業配信



その他の取組 とりあえずやってみる

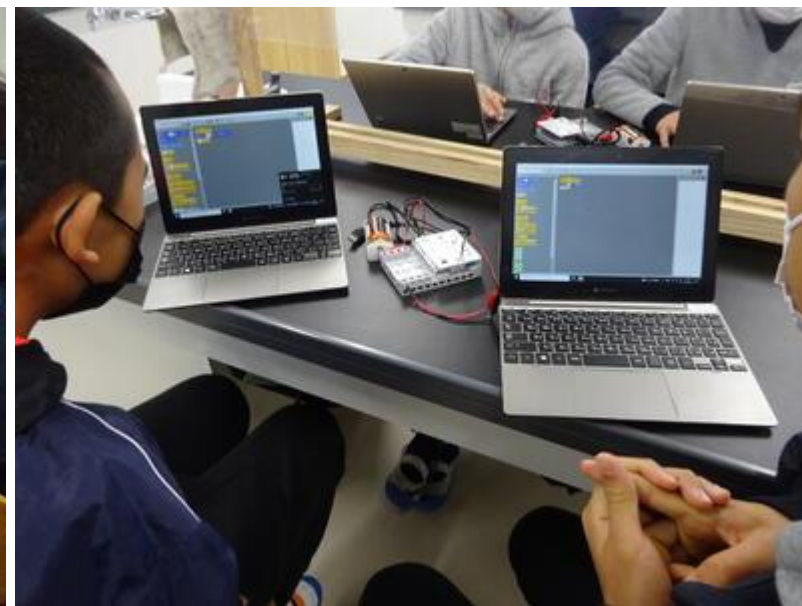
情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

学びの保証

プログラミング学習(熊本高専との連携)

小6:センサの活用



その他の取組 とりあえずやってみる

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

学びの保証

体育大会リーダー会議



オンライン班長会議



朝の会での1分間スピーチ



その他の取組 とりあえずやってみる

情報活用能力・モラルの育成

資質・能力の育成

学びの保証

生徒会広報を共同編集機能で作成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N				
1	2021年 生徒会スローガン										No.1							
2	<h3>誇楓守</h3> <p>～一人一人の笑顔を守り、誇れる楓の森～</p>										発行日 7/21							
3											代議員長  代議員長になりました。僕の管ならぬ三村管です。どんな事でも挑戦し新しいことを積極的にいきます。ですが学校を創るのは生徒全員です。私たちがこの学校の新たな歴史に花を咲かせましょう!!				代議員長  私は、代議員長という自覚を持って行動していきたいです。まだ何も決まっていぬいのでより多くの人の意見を取り入れながら学校の土台を作っていきたいと思っています。一年間よろしくお願ひします。			
4															副代議員長  僕は副代議員長として、笑顔の絶えない学校を作りたいと思っています。できないこともたくさんあると思いますが、自分のできることをしっかりしようと思います。一年間よろしくお願ひします。			
5	書記になりました。山田碩頼です。私はこの学校をより良いものにするため全										僕は、代議員だという自覚を持ち、学校を引っ張っていく人間として、皆と							

選挙管理委員会によるポスター制作



今後の課題・方向性

持続可能な取り組みを

- ・計画的な生徒の活用スキル向上
- ・取り組みの体系化
小中一貫でできることを推進していく
- ・先を見据えた教員の研修やICT支援員との連携



今後の課題・方向性

今後の具体的取組等

- ・県学調のフォローアップシートをタブレットでも活用する
- ・職員間の情報共有の場を設定
タブレットを用いた業務軽減にもつながる
- ・宿題や時間割、ワークシートなどもさらに共有化



35
ご清聴ありがとうございました



Koshi Kaede no mori elementary School & Koshi Kaede no mori Junior High School